

～臨床研究に関するお知らせ～

2020 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院産婦人科で  
卵巣癌・卵管癌・原発性腹膜癌の治療を受け、かつ脳梗塞を発症した方へ

研究題名「卵巣癌・卵管癌・腹膜癌に合併した脳梗塞に関する後方視的検討」  
へのご協力のお願い

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究機関の長 東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田純久

研究責任者 東邦大学医療センター大森病院 産婦人科 助教 長島 克

1. 研究の概要(研究の背景、目的および意義)

癌の患者さんに脳梗塞を代表とする血栓塞栓症を続発する病態を、「トルソー症候群」と呼びます。トルソー症候群を発症した場合、脳梗塞などの治療を行うことにより、癌そのものに対する治療が制限されることから、癌の悪化を招き、ひいては予後が著しく不良となることが知られています。トルソー症候群を起こしやすい癌種として、以前から卵巣癌・卵管癌・原発性腹膜癌が指摘されていましたが、その実態は不明な点が多く、実際の臨床において確立された治療指針は存在しません。

そこでわれわれは、卵巣癌・卵管癌・原発性腹膜癌の治療中に脳梗塞を発症した患者さんの実態調査を行うことを計画しました。この研究で得られる成果は、これらの患者さんの病態の解明、治療法・予防法への応用、予後の予測などに予後の予測等に役立つと考えられます。なお本研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施します。

2. 研究の方法

- 1) 研究対象者:2020 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院産婦人科で卵巣癌・卵管癌・原発性腹膜癌の治療中に脳梗塞を発症した患者さんです。
- 2) 研究期間:承認された日より1年間(予定)
- 3) 研究方法:研究対象者の方のカルテから、4)の項目を調べて、各因子と疾患の無増悪期間、全生存 期間を解析し、予後因子を抽出致します。
- 4) 使用する情報:背景因子、各種腫瘍マーカーを含めた血液検査所見、画像検査所見、病理診断、化学療法の内容、脳梗塞発症の時期、脳梗塞に対する治療の詳細、予後等を、診療録(カルテ)上から調べます。研究対象者の方の個人情報情報は削除し、連結可能な匿名化し

た上でデータを解析することにより、プライバシーの保護に細心の注意を払います。

### 3. 情報の保存および廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、東邦大学医療センター大森病院婦人科腫瘍研究室内で厳重に保管させていただきます。電子情報はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後、電子情報はコンピュータから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページに公開しお知らせします。

### 4. 研究計画書および個人情報の開示

研究対象者様のご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および方法に関する資料を入手または閲覧することができますのでお申し出ください。また、この研究における研究対象者様の個人情報等の開示は研究対象者様が希望される場合に行います。この研究の結果は研究対象者様の個人情報がわからない形にして学会、論文で発表しますのでご了承ください。この研究にご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せください。また、研究対象者様の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など受診上のサービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。また、該当する研究対象者のご遺族の方で情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合も同様にお申し出ください。

#### 問い合わせ・連絡先

東邦大学医療センター大森病院 産婦人科

長島 克

電話:03(3762)4151 内線 6675

(月曜～金曜:9時～17時)